

ローマ帝国の滅亡 (1964)

THE FALL OF THE ROMAN EMPIRE

メディア 映画
ジャンル 歴史劇
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 194分
初公開日 1964/07/18
公開情報 COL
リバイバル 1975/11 [COL]

【キャッチコピー】

全ヨーロッパを支配し 世界史に比類のない 文明を築きあげた 大ローマ帝国は 野望と謀略の渦のなかに 燃えつきていった
映画史を飾る壮大なスケールと強烈な感動で描くスペクタクル巨篇！ (リバイバル時)

【解説】

ローマがなぜ滅亡したのかをテーマに、A・マン監督の下、豪華キャストで描かれた大スペクタクル史劇。西暦180年。時の皇帝アウレリウスは、競技にふける道楽者の息子コモドウスを差し置き、信頼できる武将リヴィウスにその座を譲ろうと決めていたが、陰謀により暗殺されてしまう。そんな中、自分に資格はないと感じたリヴィウスは亡き皇帝の意に反し、自ら皇帝の座を辞退、その事により王座を得たコモドウスだが、やがて彼は暴政をふるいだす……。格調高く見事に再現されたローマの神殿、壮大な儀式の様など、見どころ満載。かなりのスケールの大きさを感じさせてくれる秀作である。

【クレジット】

監督	アンソニー・マン	Anthony Mann
製作	サミュエル・ブロンストン	Samuel Bronston
脚本	ベン・バーズマン	Ben Barzman
	バジリオ・フランキーナ	Basilio Franchina
	フィリップ・ヨーダン	Philip Yordan
撮影	ロバート・クラスカー	Robert Krasker
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin
出演	ソフィア・ローレン	Sophia Loren
	アレック・ギネス	Alec Guinness
	スティーヴン・ボイド	Stephen Boyd
	ジェームズ・メイソン	James Mason
	メル・ファーラー	Mel Ferrer
	アンソニー・クエイル	Anthony Quayle
	クリストファー・プラマー	Christopher Plummer